

議 会 運 営 委 員 会

日 時：平成 2 1 年 9 月 3 0 日（水）

相模原市議会

議 会 運 営 委 員 会 会 議 録		
平成 2 1 年 9 月 3 0 日		開 会
		午後 3 時 1 5 分
		閉 会
		午後 3 時 5 9 分
出席者	委員	加 藤 明 徳 古 内 明 東 條 恵美子 △米 山 定 克 阿 部 善 博 ○中 村 昌 治 二 木 栄 一 大 沢 洋 子 須 田 毅 藤 井 克 彦 角 尾 彰 央
	議員	議長 岸 浪 孝 志 副議長 菅 原 康 行
欠席者	な し	
説明のため出席者	な し	
事務局職員	今田議会事務局長 佐藤議事調査課長 河本同課議事班担当課長 佐藤同課同班主幹 今村同課同班主幹 小宮同課同班主幹 八木同課調査班担当課長 田中庶務課長	

協 議 事 項	1 2 月定例会の招集予定について その他
傍 聴 者	あり
署 名	委員長 中 村 昌 治

午後 3 時 1 5 分 開会

○中村委員長 ただいまから議会運営委員会を開会する。

出席委員は 1 1 名で定足数に達している。

お諮りする。本日の委員会傍聴を許可することに異議ないか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○中村委員長 異議ないので、これを許可する。

初めに、議長から発言を求められているので、願います。

○岸浪議長 7 月の臨時議会以降、9 月の初日を迎えるまでに、議運のメンバーには、いろいろなところで活躍してもらった。また、この 9 月定例会会期中に議運を開くことなく、スムーズな議会運営ができた。改めて、議運の皆様に感謝申し上げたい。

1 つだけ言わせてもらいたいのが、代表質問・一般質疑の 2 問目以降の関係で、質問と要望の語尾をもう少しはっきりしてもらえれば、議長、副議長だけではなく、議場の中にいる皆さんを含めて、質問を共有し合いながら、いろいろな議論に参加できるのではないかと思いますので、何か機会があれば、各会派の中で一言、口添えしてもらえれば幸いかなと思うので、この点について、よろしく願いしたい。

1 2 月議会は政令市にかかわる議案がたくさんあると、この前の全協で説明されているが、それに向かって、議運の皆さんには大変苦勞をかけると思うが、よろしく願いして、あいさつにかえる。本当に御苦勞さまたった。

○中村委員長 これより日程に入る。

—————◇○○◇—————

1 2 月定例会の招集予定について

○中村委員長 1 2 月定例会の仮案について、事務局から説明させる。
事務局長。

○今田議会事務局長 1 2 月定例会会議予定仮案について説明する。
資料 1 をごらんいただきたい。

さきの議運で確認してもらっているが、1 2 月定例会の会期は、1 1 月 1 7 日から 1 2 月 2 1 日までの 3 5 日間である。1 1 月 1 7 日が本会議初

日、翌18日が代表質問・個人質疑通告期限で、午後5時までとなっている。26日が本会議2日目、27日が本会議予備日となっている。12月1日から7日まで、総務、文教、環境経済、民生、建設の各委員会が開かれる。8日が一般質問通告期限、午後3時までとなっている。16日、17日、18日の3日間で一般質問、最終日が21日、委員長報告から採決まで行ってもらう。12月定例会にかかわる議会運営委員会は、11月11日午前9時30分からとなっている。

それから、ここには記載はないが、きょう、宮崎副市長が退任され、次の12月定例会から新たに小星副市長が入ることに伴い、副市長の事務分担の変更があったので、まだ皆さんごらんいただいていないと思うが、各控室に配ってある。本来だと、委員会の順番は総務、民生、環境経済、建設、文教という並びだったが、副市長の担回事務が重なる場面があったので、今、少し変則的に、こういう日程でやっている。まだ詳しく見ていないのでどういう順番になるかわからないが、できるだけ、もとの形に近いように少し編成し直す必要があるかもしれないので、その辺を少し見て、次回の議会運営委員会までに、私どもとして仮案をつくって提案させてもらえればと思っている。

○中村委員長 ただいまの説明に対して、質疑、発言があったら願います。

共産党。

○藤井委員 今の局長の話は、12月定例会の日程、1日から7日までの順番が変わるかもしれないということか。

○中村委員長 事務局長。

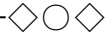
○今田議会事務局長 そのように思っているが、例えば、皆さんが今のままでよくて、副市長の担任もかぶらないということになれば、もちろんこのままでいいが、本来だと一応並び順があるので、そちらに戻すのが正式なやり方かと思っている。事務方としては、完全にそうならなくても、できるだけそういう方向に戻すようなことを考えたい。

○中村委員長 いいか。

○藤井委員 はい。

○中村委員長 他に発言はあるか。――

ないので、確認してもらった。



その他

○中村委員長 その他についてを議題とする。

前回、議運で持ち帰りとなっていた政令指定都市に関する特別委員会委員、米軍基地返還促進市民協議会理事の選出について、民主クラブより、協議結果の報告をお願いする。

民主クラブ。

○角尾委員 民主クラブとしては、両委員会、協議会とも辞退するというので、会派で統一した。

○中村委員長 ただいま、両委員、理事について、辞退の申し出があった。政令指定都市に関する特別委員会委員1名、米軍基地返還促進市民協議会理事1名が欠員となった。この欠員について、議運の中で、どちらかの会派に1名ずつの枠を当てはめていく協議をしなければならないが、政令市の次回の日程は何かあるか。

議事調査課長。

○佐藤議事調査課長 11月2日に政令指定都市に関する特別委員会を開催したいということで調整しており、委員長にも話をして、11月2日開催ということで了解をもらっている。

○中村委員長 ただいま、議事調査課長から報告があった。本日の議会運営委員会、もしくは10月19日に議会だよりのための議会運営委員会が午前9時30分から開催されるが、19日の議運までには決定したいと思う。本当は正式に全部決められればいいが、できたら本日の議運の中で方向性を出せたらと思うので、若干時間をとらせてもらいたい。

1名ずつの欠員について、選出方法等について提案があったらお願いしたい。

新政クラブ。

○阿部委員 事情が事情だし、来年5月までということなので、機械的に民主クラブの1名を除いた形で、ドント方式で割り当てられた会派から選出する形にしてもらうのが一番いいと考える。

○中村委員長 ほかに何か提案があったらお願いしたい。

公明党。

○加藤委員 私どもの会派も、基本的には、今、新政クラブから出された形での決め方でいいのではないかと考えている。

○中村委員長 今、二つの会派から、ドント方式で決定していったらどうかという提案があった。

その他の会派の皆さんはいかがか。

共産党。

○藤井委員 何らかの計算のやり方でやるしかないと思うが、そのやり方が問題なのかなと思う。ドントならドントでいいが、どのようにやるのかという感じである。

○中村委員長 ドントでいいというとらえ方でいいか。――

他の会派の皆さん、いいか。――

それでは、ドント方式で欠員について補充していきたいと思う。

公明党。

○加藤委員 来年の改選までの間、民主クラブが放棄したということと、当事者の部分は除いた中での数字をベースにドントという形になるのかなと、その決め方が一番妥当かとは思う。

○中村委員長 正副議長も外れるので、今、公明党の話で、8名がマイナスとなり、正副議長も入れて、52名から10名を引いた42名のドント表の中で欠員を入れていくという提案があった。

議事調査課長。

○佐藤議事調査課長 今のは民主クラブと吉田議員、正副議長を除いた42の構成数でドントを按分するという話で、民主クラブは全員辞退というわけではなくて1人辞退という話だったから、13プラス1という考え方でいいのではないかと思う。母数が42になるというドントで按分すれば、正しいものにできると思うが、いかがか。

○中村委員長 いいか。――

政令指定都市に関する特別委員会は14名の委員がいる。民主クラブの1人を除いた残りの13名について、42名のドント表で当てはめていくということで、新しいドント表を当てはめたことで、今いるほかの会派に

影響が及ぶことはないのか。

議事調査課長。

○佐藤議事調査課長 民主クラブの1がほかの会派に行くだけの話なので、現在、選出されている委員数がマイナスになることはない。

○中村委員長 今の課長の説明で、とりあえずドント表が準備できているということなので、配付していいか。――

では、事務局より、お手元にドント表を配付してもらう。

議事調査課長。

○佐藤議事調査課長 今配ったドント表の中で、太枠になっている13のところを見てもらいたい。民主クラブの人員は、ここに入っていない。13プラス1という考え方なので、42人の構成比で13人の選出を按分すると、太枠の中に書かれている構成員になる。現在、新政クラブが4名だが5名になる。公明党が2名、無所属クラブが2名、市民連合が2名、共産党が1名、創史会が1名、この構成については変わらない。

○中村委員長 ただいま事務局から説明があった。13プラス1ということで、民主クラブは1そのままという考えで、残りの13を42人の枠に当てはめると、新政クラブが1名プラスになるが、このような形で決定していいか。何か意見があれば、先に伺いたい。――

ないようなので、新政クラブが欠員の1名を補充するということで確認してもらった。

新政クラブは、早急に会派で協議してもらって、補充する方の氏名を事務局まで届けてもらいたい。政令指定都市に関する特別委員会委員は決定した。

米軍基地返還促進市民協議会理事の選出について、現状の選考の状況を説明してもらいたい。

議事調査課長。

○佐藤議事調査課長 先ほどドント表で按分したように、全く同じような考え方で、議会選出協議会委員については、米軍基地返還促進市民協議会と公共交通整備促進協議会の二つがあり、おのこの理事10名と監事1名、21名という中で按分している。同じように民主クラブの人数をとって、構成員44名で19名を按分するということになるので、19の按

分をここでやると、無所属クラブがプラス1となる。

○中村委員長 ただいま課長から説明があった按分表が事務局で用意できているということで、配付して確認してもらった方がわかりやすいと思うので、事務局に配付してもらう。

民主クラブの委員はそのままということで、残りの委員をドントで按分した表である。19名のところにずっと枠で囲ってあって、結果として無所属クラブがプラス1となるということで、無所属クラブに、米軍基地返還促進市民協議会理事の欠員の1名を決めてもらうということでいいか。

――

それでは、無所属クラブには、同じように会派での会合を持って、速やかに事務局に名前の届け出をお願いしたい。

改めて確認する。政令指定都市に関する特別委員会1名の欠員は新政クラブ、米軍基地返還促進市民協議会理事1名の欠員は無所属クラブから補充するというので確認してもらいたい。

次に、こども議会の開催について、事務局から説明させる。

議事調査課長。

○佐藤議事調査課長 資料2をごらんいただきたい。

毎年実施しているこども議会の関係だが、本年の実施日は10月31日土曜日である。

内容については、8の日程にあるように、午前9時開会で、市長あいさつ、こども議会の議員の質疑応答が終わり、12時の閉会を予定している。なお、議員の皆様には、後日、正式に案内するということでお願いしたい。

○中村委員長 ただいま、こども議会の開催について案内があった。この件に関して発言があったらお願いします。――

特にないので、この件に関しては確認してもらった。

そのほか、何か発言があったらお願いします。

公明党。

○加藤委員 7月臨時会のときに、私ども、吉田議員の件に関して議員辞職勧告決議を提案して、議会の中で決定した。9月定例会はきょう閉会を迎えたが、この間、本人から議会に対して、何らかの報告もなく、また、勧告決議に関して、退席した方あるいは本人から事情を確認しなけれ

ば時期尚早ではないかという意見を言った会派も、この間、それに対して何もなかった。私どもとしては、決議案を提案して議決した立場なので、この議会中に、こうすべき、ああすべきということはできない状況だったが、今後12月定例会を迎えるに当たって、場合によっては、議会運営上、関連することも予測されるので、それぞれの会派でどのような考え方を持っているのかと思って、この場で発言させてもらった。

○中村委員長 ただいま公明党から、吉田議員についての発言があった。この件に関して、他の会派の皆様から発言があったらお願いします。

新政クラブ。

○阿部委員 新政クラブとしても、今、公明党から今話があったとおり、7月に辞職勧告を求める決議をしたが、当の吉田議員が本日も議決に加わって意見表明され、一緒にやっているというところで、会派メンバーそれぞれが違和感を感じていた。我が会派としては辞職勧告という形で意思表示をしているので、吉田議員本人から、説明とか何かアクションを求めるということはないが、今話があったとおり、確かに状況を確認してから意思表示したいという会派もあったように記憶しているので、きょう、それをどうこうということでもなくとも構わないが、当然、12月議会で、一般質問とか、その他の形で委員会での発言もあるだろうから、そのまま何事もないかのように一緒にやるというのは、確かに違和感を感じているので、途中どこかで各会派の皆さんの意見を伺ったり、何か事があれば一緒に考えたりする場があれば、その方がいいかと考えている。

○中村委員長 他の会派の皆さん、いかがか。

市民連合。

○二木委員 我が会派は、辞職勧告決議案のときに会派内で割れた。そういうことも含めて辞職勧告は退席したと記憶しているが、そのメンバーに確認する時間をもらいたい。理由としては、本人に事情を聞いてからという話だったので、その辺も含めて確認したいと思っている。

○中村委員長 共産党。

○藤井委員 加藤委員と阿部委員の言っていることに対して、非常に違和感を持って聞いていた。辞職勧告決議が出されたときに、時期尚早だ、本人の説明も聞かないうちにおかしいのではないかと聞いた私どもが、こ

のことについて何か行動すべき責任があるかのようなニュアンスだったが、私どもは、7月の臨時議会の時点で退席した。にもかかわらず、決議は採択されて、あれは議会の意思である。反対しようが、棄権しようが、相模原市議会として、そういう結論を出した。出した以上、阿部委員が言うように、今さら何を聞くんだということになってしまう。だからこそ、私どもはあの時点で、そういうことはすべきでない、本人とよく議論もしながら、最終的に落ちつくべきところに落ちつくべきだ。そういう過程も踏まずにやったら、きっと、そういう決議は宙ぶらりんになってしまう。かえって議会の権威を損なうという思いで私たちは退席した。だから、責任があるのは決議を採択した方々である。一方で議会としてああいう結論を出しておいて、しかし、本人は出席している。こういう状況をつくり出したのはだれなのかと、私はむしろ怒りを持ってそのことを言いたい。責任はどちらにあるのか。そのギャップを埋める責任は私たちにはない。決議を上げた方々にある。それははっきりと言っておく。だから、退席したメンバーに確認するとか、そんな話ではない。それは筋違いの話である。

○中村委員長 無所属クラブ。

○東條委員 今、共産党が退席したということでの意見を言ったが、我が会派は、はっきりした意思表示をして、決議に反対している。その中身は、ここでやってしまうと、吉田議員の意見を何も聞けなくなってしまう。やはりきちっとした意見を表明する場がなくてはならないのではないかと、決議してはならないということで反対しているので、そういう意味でも、心配していたとおりになってしまった。どうしたらいいのかということに対して、私たちは非常に苦慮している。決議をしていなければできたようなことができなくなっていることに対して苦慮している状況だということを伝えたい。

○中村委員長 公明党。

○加藤委員 誤解があってはいけませんが、先ほどは経過の中でのことを言うだけで、こういう状況で9月定例会が閉会になったので、それぞれの会派の皆さんがどのような考え方を持っているのかを確認したかったので、藤井委員には、そのような形で理解してもらいたい。

○中村委員長 創史会、いかがか。

○古内委員 確かに市議会としての結論は出ているというところで、これから12月定例会に際してもということで今話があった。うちの会派でもそこまで話し合っていないので早急に話し合いたいと思うが、結論は出ているということで、意思は統一されていると受けとめている。

○中村委員長 他に何か発言があったらお願いします。――

皆さんの意向を取りまとめると、決議をしたので、議会としての方向性は出ている。それに対して、本人の意向を聞くのがなかなか難しいということが幾つかの会派のまとまった意見だが、一方で、私たちが下した議決に対して、本人から、それを受けての対応がないというのも一つの事実ではないかと思っている。その辺を含めて、何か意見があったらお願いしたい。

できたら、この議決を受けた中で、本人から何かもらえるかどうかは微妙だが。

新政クラブ。

○阿部委員 先ほど言ったが、新政クラブとしては、ある意味、反対したというか退席した方と同じ意向というか、会派としての意向も出して、議決を行って、相模原市議会としての意向が出ているという立場なので、本人の意向等を確認したり、この場で話をしたりということは望んでいないが、ただ、そういう意思表示をしたが、該当する方はまだ一緒にいるという現状に、私どもは強く違和感を持っている。そのことに対して、私どもの意向はそのようなことなので、皆さんにどうこうというものではないが、ただ、そうした意味で、同じような意向を持っている方がいて、対応を話し合ったりするようなことがあるのであれば、きょうこの場でということではなくて、あってもいいのではないかと思っている。

○中村委員長 何かあるか。――

市民連合から、ちょっと時間をもらってという話もあったので、本日、議運の席でそのような話があったということで各会派受けとめてもらって、本日は議会の最終の議運でもあるので、問題があるにとらえている会派がいることをお含みおきいただいて、きょうはこの程度ということでいいか。

――

その他、何か発言があるか。

公明党。

○加藤委員　　これまでも幾つかあったが、議場で質問するときの例え
　　というか単語で、相手に対してユーモアがあるような例えならまだ理解で
　　きる部分もあるが、今回も質問の前段の話の中で、相手に侮辱的な部分と
　　か、ちょっと違和感のある発言が、たび重なってあったのが気になった。
　　言うつもりはなくても、突然、流れの中で、勢いで出てしまったというこ
　　ともあろうかと思うので、この場でどうこうということ言うつもりはな
　　いが、場合によっては、本人は差別的なことでもなくとも、実は差別的な発
　　言だったり、いろいろなことがあろうかと思うので、議場での言葉の引用
　　については、各会派でいろいろな形で、特にその辺の心がけという部分を
　　話し合ってもらえればと、今議会の中で気がついたので、一言言わせても
　　らった。

○中村委員長　　本会議はインターネット等でも放映されているので、
　　日本じゅうではなく全世界に配信されていることも踏まえて、それぞれ議
　　員が責任を持てる発言をしていくようにしたいと思う。

　　その他、何かあるか。――

　　それでは、議運の視察の日程について、本来だったら、昨年、たしか秋
　　に行っていたのか、いろいろな部分で、なかなか日程がとれなかったが、
　　今あいている日程で、１月２１日、２２日の木、金を予定している。

○藤井委員　　木、金は困る。

○中村委員長　　共産党は何曜日がだめなのか。

○藤井委員　　金曜日がだめである。

○中村委員長　　そうすると、１日繰り上げて、１月２０、２１、水、
　　木という形で基本的には考えさせてもらって、視察先については、もし要
　　望等があれば、私もしくは副委員長に出してもらい、委員長、副委員長案
　　でも別にプランは用意するつもりでいる。確認してもらいたい。

　　その他、何か発言があるか。――

　　それでは、次回の議会だよりのための議会運営委員会は、１０月１９日
　　午前９時３０分から開会する。

　　以上で議会運営委員会を閉会する。

　　午後３時５９分　閉会